

第12回陸側遮水壁タスクフォース議事概要

日時：平成26年8月18日（月）15：00～17：00

場所：経済産業省別館3階302共用会議室

出席者：大西主査、赤川委員、伊藤委員、藤田委員、丸井委員、
東京電力、鹿島建設、
吉田審議官、江口対策官、豊口企画官、水野調整官、菅野補佐

議事概要：

議題1. 大規模実証事業の進捗について鹿島建設より説明。【資料1】

議題2. 大規模実証事業に関わる検討事項について鹿島建設より説明。

【資料2-1】【資料2-2】【資料2-3】【資料2-4】

<主なコメント>

- 凍結管を1.2mピッチに施工した場合の凍結可能性に関する解析において、ダムアップは考慮されているのか。
→ダムアップは考慮している。
- 凍土壁の海側のラインにおける地下水流速が閉合の過程でどの程度になるかは確認すべき。
- 凍土壁の閉合はどのようにして確認するのか。
→基本的には地盤の温度で確認する。指標となる温度差を設定した上で、想定通り凍結していない箇所がある場合には補助工法を実施することになる。
- 凍土が閉塞しない限界の地下水流速については確認すべき。
- 海側の凍結管のピッチについては基本的には1.2mとした上で、補助工法の手段、適用箇所、凍結がしにくい箇所の評価（凍結管と凍結管の隙間、地下水流速の変化、水位差等を考慮）については次回以降にご報告する。
- 水質分析はどのくらいの頻度で行っているのか。また水質の変化はあるのか。
→順次2回目の水質分析を行う予定であり、水質変化についても評価したい。

以上